

研究結果報告書

所属 台湾中央研究院民族学研究所

役職 助研究員

氏名 黄 智慧

研究結果

本研究は 2021/4/1～2022/3/31 実施予定だったが、新型コロナウイルスの影響により 2023/12/31 まで延長された。

(一) 聞き取り調査及び資料収集

(1) 日本：2022/6/22～12/21 と 2023/11/28～12/7 の 2 回に亘り、旧台北昭和町出身者を主とする引揚者家族を訪ね、家族史資料の収集やインタビューを行い、また大学や関連機関で資料収集をした。

聞き取り調査：戦前より「台北昭和町」とその周辺に暮らした家族の聞き取り調査。収集した史料には、古写真や記念冊子などが含まれる。家族とは、関東（ADACHI、ASAKA、MAEJIMA、NIIMOTO、SAITO）、関西（ITO、NAKAMURA、NAKANO、UENO、YO）、九州（OZAKI、TSUCHIHASHI）など。

資料収集：東京（早稲田大学、一般財団法人台湾協会、台湾世界遺産登録支援会、国立国会図書館、旧岩崎邸庭園、文化財沖本家住宅、昭和館、傷痕館、平和祈念館、昭和のくらし博物館）、鹿児島（維新ふるさと館）、福岡（博多引揚援護局、福岡市赤煉瓦文化館、文化財伊佐家住宅）、京都（舞鶴引揚記念館）など。

(2) 台湾：台湾大学校史館、台湾師範大学数位校史館、中央研究院台湾史研究所、国史館台湾文献館、データベース（台湾日日新報、台湾総督府公文類纂、総督府档案、台湾時報）など。

(二) 旧台北昭和町周辺の日本家屋保存運動

「台北昭和町」住民の歴史資料や建築物の価値を訴えることは、台北市政府の文化財審議プロセスにおいて非常に重要である。2003年より市民運動の仲間と昭和町周辺での日本家屋保存運動を行っており、これまでに23棟が台北市の文化財に登録された。直近2年では6棟が「歴史建築」に登録され、1棟が救援失敗、1棟が猶予、2棟が審議中である。

(三) 社会への還元：

(1) 日本：1. 日本統治時代の戸籍謄本申請と台湾に於ける家族史調査の支援、計5家族。2. 講演会を3回実施。3. 「台北昭和町」資料の日本語翻訳。4. ウェブサイトリニューアル。5. 「台北昭和町」紹介動画の日本語翻訳。

(2) 台湾：1. 「台北昭和町」にてイベント開催（講座3回シリーズと日本文化体験）。2. 講演会を2回実施。3. 家族史料展示（紫藤廬）。4. 文化財・日本家屋の見学会主催（旧北投佳山旅館、梅屋敷、栄町街道など）。5. 湾生家族の里帰りを支援。6. 文化財分布地図作成。7. 動画2本制作（文化部及び台北市政府観伝局補助）。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

①題名：台北昭和町 百年歴史街道與人物群像

講師：黄智慧

主催/会議名：台湾故郷文史協會/重現【台北昭和町】多元共居生活史 實踐郷土教育

日時：2021年11月14日

会場：台北 書畫光年/于右任紀念館

②題名：台湾故郷文史協會的經營理念與挑戰

講師：黄智慧

主催/会議名：中華社團領袖聯合總會例会

日時：2022年3月1日

会場：台北

③題名：台湾における日本語世代の遺言

講師：平野久美子氏、黄智慧

主催/会議名：東アジア文化研究会例会

日時：2022年9月17日

会場：東京 善隣会館

④題名：戦後台湾から去った日本人の住み家は今いずこ？「台北昭和町」の日本家屋保存運動について

講師：黄智慧

主催/会議名：日本李登輝友の会 第73回 台湾セミナー

日時：2022年10月30日（日）午後2時～4時

会場：東京 文京区民センター3-C会議室 <http://www.ritouki.jp/index.php/info/20221024/>

⑤題名：台湾に残る日本家屋の今日的価値について - 旧台北昭和町を中心に -

講師：黄智慧

主催/会議名：慶応義塾大学人類学会・東アジア研究所例会

日時：2022年12月9日

会場：東京 慶応義塾大学東館

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)